【1】党への新たな期待と注目のなかでのいっせい地方選挙

先日、政党助成金廃止を求める署名行動、日本共産党躍進のための募金のお願いとあわせておこないました。ある青年が「僕は18歳ですが、選挙権をもったら日本共産党に投票します」といって、署名はもちろん募金にまで応じてくれたということでした。

日本共産党への新たな注目と期待が広がるなかでの選挙戦です。県議選の金沢市選挙区では、民主党を名乗る候補者は今のところだれ一人としていません。文字どおりの「自共対決」―安倍政権への審判は、こぞって私佐藤まさゆきへ、と訴えぬきます。みなさんの大きなご支援よろしくお願いいたします。

【2】対決、対案

さて、今の県政と県議会はどうでしょうか。今の県政は、安倍政権の暴走をそのまま持ちこむ、国いいなりの県政。知事はアベノミクスを賛美し、原発再稼働に道を開いています。再生可能エネルギー導入計画をつくったものの、いつまでにどれだけ再生可能エネルギーを増やすか目標がありません。だから、先日予算の内示がありましたが、各部局の主要施策の概要に、「再生可能エネルギー」の文字はありません。こうした知事提出の議案に、共産党以外のすべての会派は「異議なし」と賛成する、「オール与党」の議会が支えています。私は、議会で繰りかえし、消費税増税に頼らない道がある、と対案示し、そのカギは、大企業の内部留保の活用で賃上げと雇用の安定はかることであり、知事として、県内の大企業、コマツやムラタに賃上げの要請に行くべきだと求めてきました。知事は、頑として拒否し、「企業が賃上げできる環境を整えることが大事」というだけです。

私は、しびれを切らし、先週金曜日に、大桑初枝県議とコマツ製作所金沢工場の中に入り、1兆4千億円の内部留保の1.14%を取り崩せば、月2万円の賃上げができる、あと1%崩せば、4,700人の雇用を増やせる―この試算を参考に、努力してほしい、と社長あての要望書を届けてきました。しかし、「公職についている人だけ」という理由をつけ、さきほど訴えた八田さんは、入れなかったのです。

みなさん、労働者魂をもった八田県議を実現し、今度は八田さんと一緒に大企業に要請に行きたいと思います。複数議席の実現へ、みなさんの大きなご支援をよろしくお願いいたします。

【3】運動と結び、願い実現で大きな実績/さらに前向きに

私は、尾西洋子さんから議席を引き継ぎ、この4年間、みなさんの運動と結んで願い実現でがんばり、県政を大きく動かすことができたことを報告したいと思います。ちょうどわたしが生まれる頃から始まった、子どもの医療費の窓口無料化を求める運動。昨年、知事の姿勢を変えさせることができ、内示された予算でも予算化されました。県が変わると市町もかわる―堰をきったように、窓口無料化を選択する自治体が広がっています。輪島市は昨年11月から先行実施、能美市は、この4月から高校卒業まで千円の自己負担もなし。加賀市白山市の10月実施につづき、昨日の報告では、小松市でも10月から実施です。今度は金沢市で実現させる番です。そのためにも、4名の議員団確立で議案提出権も活用し、お金の心配なく子どもたちを病院につれていけるように頑張りぬきます。みなさんの大きなご支援をよろしくお願いします。

この他にも、願い実現へ大きく道をひらきました―保育料の3人目無料化。―中小企業振興条例もあさってからの議会に提案され、昨年国会で成立した5人以下の小規模企業応援の振興基本法の理念をもりこむ全国初の条例となります。

そして、高い手取川の水、県水を金沢に買わせる責任水量も10%引き下げを実現し、予算化もされました。これが、みなさんの水道料金の引き下げにつながるよう。4名の議員団と力をあわせて頑張ります。

さらに政治を前にすすめるため、―国民健康保険料の引き下げ、―介護保険料の引き下げ、―学生向け給付奨学金、ブラック企業・ブラックバイト規制条例などに取り組みます。

みなさんの大きなご支援をよろしくお願いします。

【4】行政と議会のチェック役

この日本共産党の議席は、「オール与党」議会のなかで、行政と議会のチェック役として、ほかの党にはとってかわることのできない力を発揮しています。石川県の財政力は全国21と、お金がないわけではありません。しかし、豪華な県庁舎、水害対策にも必要のない辰巳ダムをつくるなどして、借金は全国上から10番目。一方で、くらしを支える予算は、全国40番台、30番台。これからも何の反省もなく、白山にトンネルをほって新たな道路をつくる、手取川にまた橋をかけて道路をつくる、新幹線も金沢から大阪まで伸ばすために、さらに多額の税金をつぎこむこうした大型開発の中止・見直しで、投資的経費というお金の規模を全国平均並みにすれば、100億円程度の予算が出てくるのです。国保料の年1万円引き下げはわずか17億円、すぐにでも実現できるではありませんか。

こうした対案示せる日本共産党は、チラシにもあるとおりに、県議会の海外視察中止を求め、1度も参加しておりません。みなさん、共産党は大丈夫と振りかまれているなかで、必死のがんばりで、「安部政権ノーの審判を佐藤まさゆきへ。「オール与党」のなかで、唯一の野党の議席として、くらし応援の願いを佐藤まさゆきへ、と訴えぬきます。

みなさんの大きなご支援をお願いして、訴えとします。

ありがとうございました。